

日本DMAT隊員養成研修 2017年6月8日

国立病院機構大阪医療センターにてDMAT隊員養成研修が行われ、当センターの渡邊医師が受講し、晴れて日本DMAT隊員となりました。

地方版DMATは、日本DMATとは活動内容に若干の違いがあります。

当センターでは日本DMATの医師が少ない現状にあり、渡邊医師には今後の活動が期待されます。

最新の知識を学んだ渡邊医師とともに、今後の当院DMAT活動をより活発に盛り上げていけたらと思います。

今後ともDMAT活動にご協力よろしく申し上げます。



平成29年度近畿地方DMATブロック訓練 2017年6月11日

平成29年度近畿地方DMATブロック訓練(第1回ロジスティクス研修会)が国立病院機構大阪医療センターにて開催されました。

熊本地震におけるロジスティクスの活動報告がメインテーマで、本部レベルで活動したDMATの意見や、搬送・病院支援について、また、現場レベルで活動したDMATの意見など、問題点や工夫点などの情報を共有する事が出来ました。

午後からは、DMAT以外の他団体の話も伺うことができました。災害時には他機関連携が重要になります。DMATのみならず、他機関の業務やその内容を知ることで、有事の際にいち早く協力体制を取り、円滑な活動ができると感じました。

DMATが活動する度、このように内容が検討・評価され、活動が改善されていきます。今後起こるであろう災害に向けて、また新しい課題を見出し、活動内容を再検討する良い機会になりました。



平成29年度 第1回近畿ブロック統括DMAT技能維持・ロジスティクス研修 2017年6月27日

6/26, 27の二日間、国立病院機構大阪医療センターにて平成29年度第1回近畿ブロック統括DMAT技能維持・ロジスティクス研修が開催されました。

当センターより、受講生として藤見医師・松田医師が参加、インストラクターとして仲榎・藤江・西・天野が参加しました。

統括DMATとは、平常時はDMAT訓練や研修・都道府県の災害医療体制に関する助言等を行い、災害時には各DMAT本部の責任者として活動する資格を有しており、より総合的な知識が必要です。

当センターには3名の統括DMAT隊員が在籍し、活動しています。当センターは、大阪で唯一の基幹災害拠点病院であり、DMAT活動時には、重要な本部機能を担うことが考えられます。

今回の研修で知識をブラッシュアップし、当センターでの本部がより機能的に、スムーズに運営ができるよう、日々研鑽を積んでいます。

